

陸・海・空教育部隊において入隊式挙行



第117教育大隊（陸自）
（神奈川県横須賀市）

令和3年度の入隊式が、陸・海・空自衛隊の各教育部隊で挙行されました。山梨県から入隊した隊員たちも真新しい制服に身を包み式に臨みました。各会場では、家族や来賓の方の参加を制限される等、新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策が各種講じられた上で実施されました。

新入隊員は、緊張した面持ちの中にも決意を新たに、自衛官として自衛隊施行規則により定められた服務の宣誓を行いました。

わずか十日余で、たのめしさが感じられるようになった隊員たちの姿に来場者からは、祝福と期待の声が寄せられていました。

新しく私たちの仲間となった皆さん、おめでとうございます。これから様々な教育・訓練で自らを鍛え、立派な自衛官となり、一緒に勤務できる日を楽しみにしています。



第117教育大隊（陸自）
（神奈川県横須賀市）



防府南基地（空自）
（山口県防府市）



函館駐屯地（陸自）
（北海道函館市）



第120教育大隊（陸自）
（北海道札幌市）



舞鶴教育隊（海自）
（京都府舞鶴市）

企業主の声

今月号と来月号では、現在退職自衛官の方を雇用していただいている企業主の声を紹介します。

今月号では、社会福祉法人永寿会の富士山荘様より投稿を頂きました。

自衛官の皆様へ

当法人は1979年の設立以来、「生きる喜び」を法人理念に掲げ、利用者様と地域の皆様の多様なニーズに対応できる福祉の拠点を目指して参りました。現在は鳴沢村と富士河口湖町で特別養護老人ホーム1施設、地域密着型特別養護老人ホーム2施設の他、デイサービスやショートステイ及び居宅支援事業所などを展開しております。

平成31年に初めて退職自衛官の方を正職員として採用させて頂きました。すぐにその礼儀正しききびきとした振る舞いと、全くの未知の世界に対し、謙虚に学ぶ姿勢に職員一同深く感銘を受けると共に、信頼できる人物だと確信いたしました。

また、前職の経験を生かして頂くため、昨春からは介護業務の傍ら、法人の防災委員会の主要メンバーとして、災害の被害を最小限に抑えるための対策や、災害弱者となります入居者の方々の生命のみならずその暮らしを守る方策を検討していただいております。

「国防と介護」「柔と剛」

一見対極にあるような二つの世界ですが、サポート等を必要とする方々をお守りすることとは、心身共に鍛え上げられ、誰かのために命をかけて守り抜く決意を持たれ勤務されてきた自衛官の方々にこそ担って頂きたい職務であると強く感じました。

最後にありますが、次頁で紹介する渡邊氏と当法人の縁を結ぶため、丁寧で温かいサポートを重ねてくださった山梨地域援護センターの皆様にご心より感謝申し上げます。（終）



◎山梨地方協力本部では、今後も各種企業様に対し「退職自衛官」雇用のメリットを丁寧に説明し、一社でも多くの企業の方に雇用していただけるよう努めて参ります。

今後とも各種企業様のご支援とご協力をお願いいたします。

3月25日（木）山梨地方協力本部は、第1特科隊（北富士駐屯地）の支援を得て、都留文科大（都留市）において実施された学生との座談会に参加しました。

同大学での座談会は今回が初めてであり、地本本部及び第1特科隊から、一般大を卒業後、自衛隊に入隊した陸・海・空の各自衛官5名が、大学からは学生3名が参加しました。

3自衛隊がそろったこともあり「3自衛隊の中で、今の職種を選んだ理由は何か」という質問や「体力に自信がないが入隊後、大丈夫か」という質問が寄せられました。自衛官たちは自身の経験などをもとに回答し、それを聞いた学生の中からは「入隊に対する不安が払拭できた」といった声が寄せられました。

山梨地本では、現役自衛官による説明会等を随時実施しています。現役自衛官の生の声を聞く良い機会であり、好評を博しています。ご希望、ご質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。お待ちしております。



自衛隊山梨地本便り

【発行】
自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

山梨地本
Twitter



Instagram



都留文科大座談会参加



県内に勤める自衛隊OBの紹介（定年制）

自衛隊山梨地本便り

【発行】
自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

自衛隊では、精強性を維持する必要性から、若年定年制が採用されており、大半の自衛官は、50歳代半ばで定年退職をします。

自衛隊では、年間数多くの隊員が勤務で培った強い責任感、さらに職種毎に身に付けた高い技術を退職後も様々な分野で発揮し、社会に貢献しています。

今回は平成31年4月に定年退官し、県内において介護職員として勤務されている自衛官OBの方を紹介いたします

特別養護老人ホーム富士山荘渡邊 勤也

私は、平成31年4月に富士駐屯地に所在する自衛隊富士学校を最後に准陸尉で定年退官し、自衛隊山梨地方協力本部援護課地域援護センターの援助を受け、鳴沢村にあります特別養護老人ホーム富士山荘に介護職員として採用されました。業務内容は入居者様の食事や入浴などのサポートと精神面のケアになります。

再就職をして2年が経ちますが、やはり1年目は入居者様のお顔とお名前を覚えることから始まり、食事や着替えの介助など初めて体験する事ばかりでしたが、自衛隊在職中に部外技能講習を活用し、介護初級（旧ヘルパー2級講習）を受ける機会を頂き、公的な資格だけでなく、基本的な知識と技能を習得していた事は、実際の業務に従事する際に大いに生かすことができました。



介助器具を操作する渡邊さん



送迎車と渡邊さん

また、自衛隊で培った協調性、忍耐力及び実行力は、折につけ施設の職員の方や入居者様からの感謝の言葉として返ってきて、強いやりがいを感じております。

これからは自分が、入居者様に何ができるかを考え、積極的に勤務していきたいと思っています。

最後になりますが、これから退職を考える自衛官の方々は是非ダイレクトに誰かのために貢献できる介護の仕事に携わって頂きたいと思っています。

装備品紹介（救難飛行艇 US-2）



海上自衛隊と聞くと船をイメージする方も多いと思いますが、航空機や潜水艦など様々な乗り物を保有しています。その中には世界的にも珍しい飛行艇も含まれています。今回は海上自衛隊が運用する救難飛行艇US-2を紹介いたします。

救難飛行艇 US-2は、洋上での捜索救助を任務とする飛行艇です。海面に着水できる特性を持ち、ヘリコプターでは届かず、かつ、船では時間がかかるような遠く洋上での捜索救助活動が可能です。海上自衛隊では、救難飛行艇の部隊が新編された1976年（昭和51年）以来、1000件以上の捜索救助に従事し、1000名以上の救助した実績を有しています。US-2は、2006年（平成18年）岩国航空基地に配備、運用が開始され、救難事象の発生に備えています。

人事往来

山梨地本において人事異動がありましたので紹介いたします



令和3年4月1日付

○総務課

・防衛事務官 内藤 寛雄
関東処用賀支処（用賀）から

令和3年3月18日付
○募集課

・3等空佐 東 新治
航空幕僚監部（市ヶ谷）へ

令和3年4月1日付
○総務課

・防衛事務官 吉岡 利光
岩手地方協力本部へ

・防衛事務官 阿部 健一
東部方面総監部（朝霞）へ

○募集課

・防衛事務官 小泉 葉子
陸上幕僚監部（市ヶ谷）へ

○援護課

・防衛事務官 後藤 恭平
システム開発隊（市ヶ谷）へ

令和3年4月12日付
○大月地域事務所

・2等海曹 田中 良典
第21整備補給隊（館山）へ

【転入者】

令和3年3月22日付
○大月地域事務所

・1等海曹 米原 浩子
海上幕僚監部（横須賀）から



○募集課

・防衛事務官 小池 国幸
滝ヶ原駐屯地（滝ヶ原）から

・防衛事務官 鈴木 遼
関東処用賀支処（用賀）から

○援護課

・防衛事務官 行方 隆二
関東補給処（霞ヶ浦）から

・防衛事務官 本田 祐暉
自衛隊富士病院（富士）から



【お問い合わせ先】 山梨地方協力本部：055-253-1591 大月地域事務所：0554-22-1298

甲府募集案内所：055-228-6427 同巨摩地域担当：055-283-5150

【HP】 <https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>

